

令和5年8月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

「第31回南郷サマージャズフェスティバル2023」が7月29日、八戸市南郷のカッコの森エコーランドで4年ぶりに開催されました。

全4部のステージで構成され、第1部にはカリブ音楽集団のトロピコス、第2部にはボーカルグループのジャミン・ゼブ、第3部にはサックス奏者のMALTAさんが演奏を披露し、第4部ではピアニストの山下洋輔さん率いるスペシャルカルテットとして八戸市出身のトランペッター類家心平さんらが登場しました。

ステージの最後に、出演者のセッションが行われ、会場に響き渡る万雷の拍手でフィナーレ。詰めかけた約1300人のファンは、猛暑をものともしない熱いパフォーマンスに酔いしれました。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 8月号 レポート

令和5年7月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	ブルーインパルス飛行隊長に八戸大使委嘱 名久井朋之 2等空佐
(2)	八戸市民病院 全国初 ドクターカーのサイレン音変更 「ピーポー」→「ヒュンヒュン」
(3)	熊谷市長が施策紹介 中央省庁関係者に
(4)	三陸復興国立公園指定10周年 9月3日に記念シンポジウム
(5)	八戸「まちなかWi-Fi」運用開始
(6)	YSアリーナ八戸 吉田産業が命名権更新

## 【産業】

記事	概要
(7)	VISITはちのへ 三社大祭 多角的にPR
(8)	プライフーズ（八戸）旧八戸北高南郷校舎取得へ
(9)	吉田屋×WAGYUMAFIA コラボ駅弁販売
(10)	マイワシ6月異例6000トン 八戸港水揚げ大中巻き網船10年間で最多
(11)	マルカネ（八戸）、はちのへワイナリー共同開発「ワインしめさば」発売
(12)	八戸中央青果 キャベツ 香港へ初出荷

## 【地域】

記事	概要
(13)	4年ぶり八戸七夕まつり 夏の風物詩 再開に喜び
(14)	東京から八戸移住 ソムリエ林さん ワインの魅力 広めたい
(15)	地域のお宝 集めて勝負！ 八戸圏域文化財カード
(16)	はっちに地酒カフェ開店 飲み比べや郷土料理提供
(17)	八戸・長者山 脈々と100年「森のおとぎ会」

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	陸上アジア選手権 男子1万メートル 田澤廉選手（八戸出身）アジア王者
(19)	レスリング女子五輪4連覇 伊調馨さん講演
(20)	全国高校野球青森大会 光星2年連続甲子園切符

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>ブルーインパルス飛行隊長に八戸大使委嘱 名久井朋之 2等空佐</b></p> <p>八戸市は7月7日、八戸市出身で航空自衛隊松島基地（宮城県）所属のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」で飛行隊長を務める名久井朋之 2等空佐に八戸特派大使を委嘱した。名久井さんは2021年4月にチームに配属となり、22年3月からは飛行隊長を任されている。全国各地で展示飛行を披露する名久井さんは「八戸の魅力を全国に伝えたい」と意気込みを語った。</p>
(2)	<p><b>八戸市民病院 全国初 ドクターカーのサイレン音変更 「ピーポー」→「ヒュンヒュン」</b></p> <p>八戸市立市民病院は、9月9日の「救急の日」から全国に先駆け、運用するドクターカーのサイレン音を「ヒュンヒュン」というイェルプ音に変更する。なじみの深いピーポー音と比較してより人の耳に届きやすいという。救急車と異なる独自のサイレン音を採用することで、事故リスクの低減や現場到着の時間短縮による救命率の向上を図る。</p>
(3)	<p><b>熊谷市長が施策紹介 中央省庁関係者に</b></p> <p>八戸市は7月12日、東京都内のホテルで、4年ぶりに市にゆかりのある中央省庁関係者らと意見交換会を開いた。中央省庁の関係者のほか、市の幹部ら約40人が参加。大島理森前衆院議長や神田潤一衆院議員、滝沢求、田名部匡代両参院議員も出席した。熊谷市長は市政報告で、公共施設の整備や主要施策である子どもファースト事業などを紹介した。4日付で国税庁長官に就任した、市出身の住澤整さんが乾杯の音頭をとった。</p>
(4)	<p><b>三陸復興国立公園指定10周年 9月3日に記念シンポジウム</b></p> <p>種差海岸などの三陸復興国立公園指定10周年を受け、八戸市は9月3日、市公会堂文化ホールで記念シンポジウムを開く。作家・椎名誠さんが「宇宙に誇る種差海岸」と題して講演するほか、「種差海岸の保護と利用の両立」をテーマに、椎名さんらパネリスト5人によるディスカッションも予定している。このほか、パネル展「三陸復興国立公園指定メモリアルギャラリー」や環境省によるアクティブ・レンジャー写真展なども市庁本館や市公民館で開催される。</p>
(5)	<p><b>八戸「まちなかWi-Fi」運用開始</b></p> <p>八戸市は7月22日、中心街の屋外エリアで利用できる無料の「まちなかWi-Fi」の運用を開始した。デジタル技術で中心街の振興を図る「はちのへAI（あい）中心街・バス活性化プロジェクト」の一環。これまでは公共施設ごとに無料Wi-Fiを提供し、施設内でしか利用できなかったが、三日町、十三日町、六日町、十六日町の屋外全エリアで利用可能となった。快適なインターネット環境を提供することで、利便性の向上を図る。</p>
(6)	<p><b>YSアリーナ八戸 吉田産業が命名権更新</b></p> <p>八戸市と吉田産業（同市）は7月24日、長根屋内スケート場の命名権（ネーミングライツ）の契約を更新し、2019年のオープン時からの愛称「YSアリーナ八戸」が引き続き使用されることになった。契約期間は10月1日から28年9月30日までの5年間。命名権料は、これまでと同じく年間2千万円（税抜き）。</p>

## 【産業】

記事	概要
(7)	<p><b>VISITはちのへ 三社大祭 多角的にPR</b></p> <p>VISITはちのへは、4年ぶりの通常開催となる八戸三社大祭に向け、首都圏などの利用者を対象に、ウェブで観覧席チケットがあたるキャンペーンを実施するなどデジタルマーケティングを活用して誘客活動を行った。新たな取り組みとして、籠神社で三社大祭の起源などを学んだり、山車の制作体験をするなど3日間の事前ツアーを企画。山車の運行だけでなく神事としての本質もPRし、多角的なアプローチで観光需要の掘り起こしを図った。</p>
(8)	<p><b>プライフーズ（八戸）旧八戸北高南郷校舎取得へ</b></p> <p>2017年に閉校した旧青森県立八戸北高南郷校舎の利活用に向けた県の公募型プロポーザルで、プロイラーの生産や鶏肉加工品の製造、販売を手がける「プライフーズ」（同市）の事業提案が採用されたことが分かった。事業提案内容は公表していないが、同社はかねてより人手不足を見据えた省力化や生産性向上に対応するため積極的な設備投資を進める意向を示しており、施設の有効活用を図るとみられる。</p>
(9)	<p><b>吉田屋×WAGYUMAFIA コラボ駅弁販売</b></p> <p>八戸市の弁当製造・販売の「吉田屋」は7月12日から、実業家の堀江貴文さんが手がける和牛専門店「WAGYUMAFIA」とコラボレーションした駅弁「WAGYUMAFIA ULTRA BENTO」を販売している。味付けうにやイクラなどがちりばめられた下に宮崎県の尾崎牛や神戸牛のしぐれ煮が詰まった、海鮮の食感と和牛のおいしさが楽しめる一品。価格は5500円（税込み）で東京、品川、京都、新大阪の4駅で購入できる。</p>
(10)	<p><b>マイワシ6月異例6000トン 八戸港水揚げ大中巻き網船10年間で最多</b></p> <p>八戸市水産事務所は7月12日、6月の八戸港の水揚げ実績を発表した。同月中旬に始まった大中型巻き網船団によるマイワシの水揚げが約6千トンに伸長し、港全体の数量は7078トン（前年同月比267%増）、金額7億3953万円（165%増）となった。過去10年間で数量は最多で、金額は2番目に高かった。三陸沖に形成された漁場が下旬には八戸沖に到達したことで豊漁となった。</p>
(11)	<p><b>マルカネ（八戸）、はちのへワインナー共同開発「ワインしめさば」発売</b></p> <p>八戸市の水産加工業「合同会社マルカネ」は「はちのへワインナー」と共同開発した新商品「ワインしめさば」の販売を始めた。日本ソムリエ協会認定のマスターソムリエ高野豊さんが監修。和食のイメージが強いしめさばを、洋風にアレンジした商品で6月の東京都内での展示会では、洋食業界関係者や海外バイヤーなどから高い評価を得たという。価格は1080円（税込み）で現在は八戸市のユートリーなどで販売している。</p>
(12)	<p><b>八戸中央青果 キャベツ 香港へ初出荷</b></p> <p>青森県産のキャベツが、八戸中央青果での検品を経て香港に輸出される。同社はこれまでナガイモやりんごジュースの輸出実績はあるが、キャベツは初。海外では青森県産りんごの認知度が高まっているが、他の農産物については伸び代があるという。今回の輸出は、東北と新潟の農林水産物などの輸出拡大に取り組む東北経済連合会によって実現。課題だった集荷力と害虫駆除などを同社の人材や施設を活用して作業体制を整えたことで輸出が可能となった。</p>

## 【地域】

記事	概要
(13)	<p><b>4年ぶり八戸七夕まつり 夏の風物詩 再開に喜び</b></p> <p>第71回八戸七夕まつりが7月15、16日の両日、八戸市中心街で4年ぶりに開催された。これまで4日間だった日程を2日間に短縮。最終日は、初日のあいにくの雨で設置が見送られていた大型七夕飾り計27個が登場し、イベントも行われた。歩行者天国になった三日町と十三日町、ヤグラ横丁の店先にはさまざまな吹き流しが飾られ、沿道には露店が並んだ。浴衣姿の若者や家族連れらでにぎわい、街は活気に満ちた。</p>
(14)	<p><b>東京から八戸移住 ソムリエ林さん ワインの魅力 広めたい</b></p> <p>八戸市中心街の花小路沿いにあるカジュアルワインバー「hanamichi (ハナミチ)」のソムリエ林高志さん(東京都出身)は、今春、東京から八戸に移住した。昨春、知人を介してスタッフを募集していたハナミチで2カ月ほど臨時で働いたのが縁で、八戸に理想の暮らしがあるように感じた。その後、東京に戻り半年ほど悩み抜いた後、八戸移住を決断した。「第二の古里になった八戸の人たちに喜んでもらえるような店をつくってきたい」。自分の店を持つ夢を実現するための林さんの挑戦は始まったばかりだ。</p>
(15)	<p><b>地域のお宝 集めて勝負! 八戸圏域文化財カード</b></p> <p>八戸市と近隣7町村で構成する、八戸圏域連携中枢都市圏文化財ワーキンググループは、同市の蕪島ウミネコ繁殖地や合掌土偶など、圏域の文化財を絵柄に採用した「八戸圏域文化財バトルカード」を製作した。カードは収集するだけでなく、昨今、人気となっている「ポケットモンスター」などの対戦型のトレーディングカードの要素を取り込んでおり、カードゲームとしても楽しめる。文化財の価値や意義を分かりやすく伝え、親しみをもってもらうのが目的で全国的にも珍しい取り組み。夏休みが始まる22日から文化財所在地などで無料配布している。</p>
(16)	<p><b>はっちに地酒カフェ開店 飲み比べや郷土料理提供</b></p> <p>八戸市三日町の「はっち」2階に八戸の地酒と郷土料理を提供する「地酒カフェはちのへ」がオープンした。日本酒イベントなどを開催する有志団体「地酒研究会はちのへ」が運営する。料理は八戸せんべい汁などのソウルフードや地元の旬食材をが楽しめる日替わり御膳、地酒飲み比べセットなどを提供する。観光客に向け、地元酒造の名酒をPRしつつ、時間帯やメニューによっては提供している店が少ない郷土料理を味わってもらえる拠点にしたい考え。</p>
(17)	<p><b>八戸・長者山 脈々と100年「森のおとぎ会」</b></p> <p>八戸童話会による「森のおとぎ会」が7月22日～28日まで八戸市の長者山新羅神社で行われた。1924年に八戸大火で焼け出された子どもたちを元気づけるために始まった取り組みは、今年で100年目の節目。これだけ息の長い、語り聞かせの会は全国的にも珍しいという。初日の22日は、立ち見ができるほどの盛況ぶり。子どもたちだけでなく、思い入れのある親や祖父母らの世代も大勢集まり、樹齢300年を数える「おとぎの桜」の下、童話会のメンバーらが繰り広げる多彩な物語に聞き入った。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p><b>陸上アジア選手権 男子1万メートル 田澤廉選手（八戸出身） アジア王者</b></p> <p>バンコクで開催された陸上アジア選手権（7月12日～16日）の男子1万メートルで、田澤廉選手（八戸出身・トヨタ自動車）が29分18秒44で優勝した。猛暑のレースに苦しみ、途中腹痛にも見舞われ、自己ベストから2分近く遅れる29分台だった。2年連続出場を目指していた8月の世界選手権につながるタイムでは走れなかったが「出られなくても見に行く予定。悔しさを感じるのが来年のパリ五輪につながる」と前を向いた。</p>
(19)	<p><b>レスリング女子五輪4連覇 伊調馨さん講演</b></p> <p>レスリング女子五輪4大会連続金メダルの伊調馨さん（八戸出身・ALSOK）の講演が7月15日、YSアリーナ八戸で開かれた。市がレスリングの普及を目的に開催。同市のレスリングクラブ「八戸クラブ」に所属する選手ら約90人が参加した。会は一問一答式で進められ、伊調さんは世界最強まで上り詰め、君臨し続けた考え方を披露した。会場には五輪4連覇で獲得した四つの金メダルが展示され、子どもたちは世界最強の象徴に興味深げに見入っていた。</p>
(20)	<p><b>全国高校野球青森大会 光星2年連続甲子園切符</b></p> <p>第105回全国高校野球選手権青森大会の決勝が7月27日、弘前市はるか夢球場で行われた。八戸学院光星と八戸工大一が2年連続で激突する「八戸対決」は、八戸学院光星が延長十回タイブレークの末、3-2で八戸工大一に勝利。2年連続12度目の優勝を果たし、夏の甲子園切符を手にした。決勝のタイブレーク決着は初めて。球史に残る激闘に、球場から両チームへの惜しみない拍手が送られた。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

#### 申込み方法

##### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



##### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



#### 送付先

### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。